

報道関係者各位  
(参考資料)

2020年7月9日  
株式会社インターネットイニシアティブ

## クラウド型のデータベースサービス「IIJ マネージドデータベースサービス」に DR 対策用バックアップ機能を追加

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎)は、高性能なデータベースをクラウドサービスとして提供する「IIJ マネージドデータベースサービス」に、ディザスタリカバリ(DR)対策用のバックアップ機能を追加し、「IIJ マネージドデータベースサービス DR オプション」として、本日より提供開始いたします。

本オプションでは、プライマリリージョンにあるデータベースサーバのデータをスタンバイリージョン(DR側)に定期的にバックアップします。災害等でプライマリリージョンがダウンした場合のDR発動時には、お客様は任意のタイミングでスタンバイリージョンにデータを取り込んでデータベースサーバを復旧することができます。平時は、スタンバイリージョンのデータベースサーバを起動しない構成をとることで、データベースのライセンス費用が発生しないようコストを抑えたDR対策を講じることが可能です。

### 概要

IIJ マネージドデータベースサービスは、IIJ のクラウドサービス「IIJ GIO インフラストラクチャーP2」で提供のお客様専用の仮想サーバ上でデータベースを月額課金でお使いいただけるサービスです。お客様は、冗長構成やバックアップなど煩雑なデータベースの運用に手を煩わせることなく、かつデータベース機能などの制約なしにご利用いただけます。

今回追加するDRオプションを利用することで、お客様はより安価にDR構成を実現でき、有事の際に本番環境を短時間で復元させることができます。本機能の主な特徴は以下のとおりです。

- ・ データベースバックアップのための実装や運用が不要  
一般的にDRのためには、スタンバイリージョン側にもデータベースサーバの構築や、バックアップの実装・運用が必要になりますが、本オプションはサービスとして提供されるため、構築にかかる手間や運用費用を抑えることが可能です。
- ・ ライセンス費用を抑えたDR対策  
スタンバイリージョンのデータベースサーバを起動しているときは、サーバのソフトウェアライセンス費用が発生しますが、本オプションでは、データベースサーバを平時には起動させないことで、ライセンス費用が発生しません。スタンバイリージョンにデータベースサーバを復元するには、プライマリリージョンにある停止中のデータベースのライセンスを流用することで、ライセンス費用を抑えることができます。
- ・ 短時間で復旧が可能  
お客様専用のオンラインサイトから、スタンバイリージョンでのサービスをお申込みいただくと、最短1時間以内にデータベースサーバを復旧させることができます。本サービスの基盤は、IIJの東日

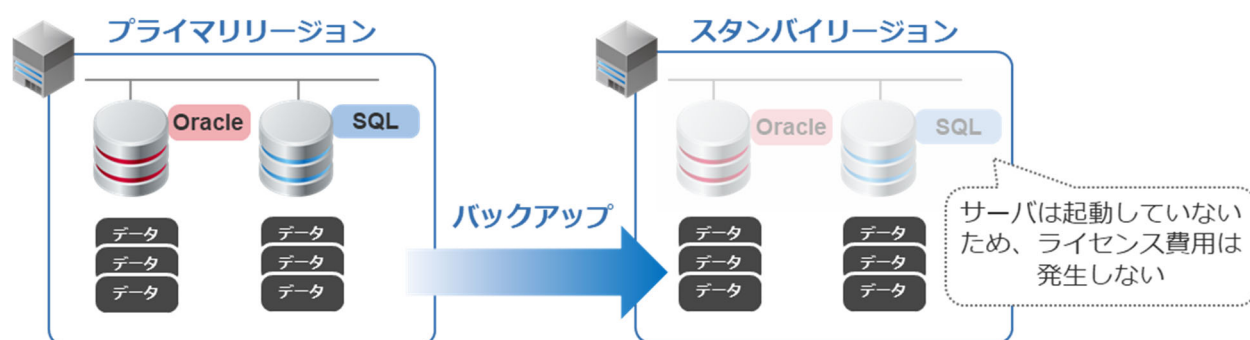
本リージョンと西日本リージョンに分散しているため、お客様は東西間での DR 対策を取ることが可能です。

機能名 IIJ マネージドデータベースサービス DR オプション

提供開始日 2020年7月9日

提供価格 初期費用 0円  
月額費用 Oracle Database 50,000円  
Microsoft SQL Server 15,000円  
※上記価格に消費税は含まれません。

サービスイメージ図



➤ オプションの詳細については、以下サイトをご覧ください。  
<https://www.ij.ad.jp/biz/mdb/>

IIJ では今後とも、お客様がデータベース資産を安心・安全に運用管理できるよう、本サービスの機能拡張を積極的に進めてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp) URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。